

ケースA-2

### 失業等給付の収支試算

( 支出が過去5か年平均 (15~19年度) で推移するケース )

(単位：億円)

	19年度 (実績)	20年度 (予算)	21年度 (試算)	22年度 (試算)	23年度 (試算)	24年度 (試算)	25年度 (試算)
収入	22,214	21,722	14,250	20,287	20,287	20,287	20,287
支出	14,917	16,795	17,177	17,177	17,177	17,177	17,177
差引剰余	7,297	4,927	▲ 2,927	3,110	3,110	3,110	3,110
積立金残高	48,832	53,759	50,831	53,941	57,051	60,161	63,271
弾力倍率	4.51倍	4.05倍	3.40倍	4.02倍	4.23倍	4.45倍	4.66倍

	19年度 (実績)	20年度 (予算)	21年度 (試算)	22年度 (試算)	23年度 (試算)	24年度 (試算)	25年度 (試算)
保険料率	1.2%	1.2%	0.8%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%

(注1) 収入は、19年度は決算額、20年度は予算額、21年度以降は1000分の1当たり保険料(過去5か年平均)×保険料率を主として算出しており、支出は19年度は決算額、20年度は予算額、21年度以降は過去5か年平均を固定して計上している。

(注2) 保険料率は21年度は0.8%、22年度以降は現行の料率に戻ると仮定して計算している。

## ケース B

( 支出が過去最悪状況(11'実績)で推移するケース )